

UZoneのアカウントに対してメール送信プログラム

送信先の設定

送信先はスプレッドシートで管理しています。

[Uzone_CRM_対象](#)のシート [送信対象](#)

送信対象から削除する場合は、その行を削除、

送信対象を増やす場合は、末尾に行を追加してください。

担当者は現在メール送信時には使わないようにしているので、追加の際に含めなくても大丈夫です。

上記のシートは、編集する際に警告を出すように設定していますが、意図していない編集を防ぐ目的なので、編集していただいて大丈夫です。

アクセスが弾かれる場合は、[SFPJ](#)のアカウントを利用して確認してみてください。

メール送信

1. デスクトップ上にある フォルダ [UZone_CRM](#) にアクセス
2. フォルダ内にある [UZone_CRM_データセット.bat](#) をダブルクリック フォルダ内の [TRAN_DATA](#) 配下に当日付のフォルダが作成されます
3. 作成された当日付のフォルダにアクセス
フォルダの場所 [TRAN_DATA/{year_month_date}](#)
フォルダ内には宛先リスト [mail_status.csv](#)、メールの件名を設定する [subject.txt](#)、紹介するパーツ名を設定する [parts_name.txt](#) が作成されます

ユーザ設定部分

4. メールの件名を [subject.txt](#) 内に記述する
5. 紹介するパーツ名(黒い線で挟まれた部分)を [parts_name.txt](#) 内に記述する
改行を含める場合は [
](#) を改行の代わりに含めてください。
6. [TRAN_DATA/{year_month_date}](#) 配下に添付したい画像をファイル名 [mail](#) で、ファイル形式を [png](#) にして配置。

メール自動送信部分

7. [UZone_CRM](#) 配下に移動
8. [UZone_CRM_メール送信.bat](#) をダブルクリック
9. 1通目はOutlookのアプリでプレビュー表示されるので、それを確認して問題がなければ、メールのプレビューを閉じる
10. そのまま送信を続ける場合は、黒い画面で [y](#) を打ち込み、[Enter](#) を押してください

注意点

- bat処理 [UZone_CRM_データセット.bat](#) と [メール自動送信.bat](#) の2つは同一日に実行するようにしてください。
実行できなかった場合は、最初からやりなおすようにしてください。

- メールのフォーマットなどを、変更したい場合は、藤原に連絡してください。
すぐしたければ、メール本文はUZone_CRMメール送信/MASTER_DATA/mail.htmlを変更すればいい
ます。
- connect_google_servive.jsonはGoogleアカウントSFPJのGoogle Cloud Platformのプロジェ
クトUZone-CRMから取得することが可能です。
一応隠してます。